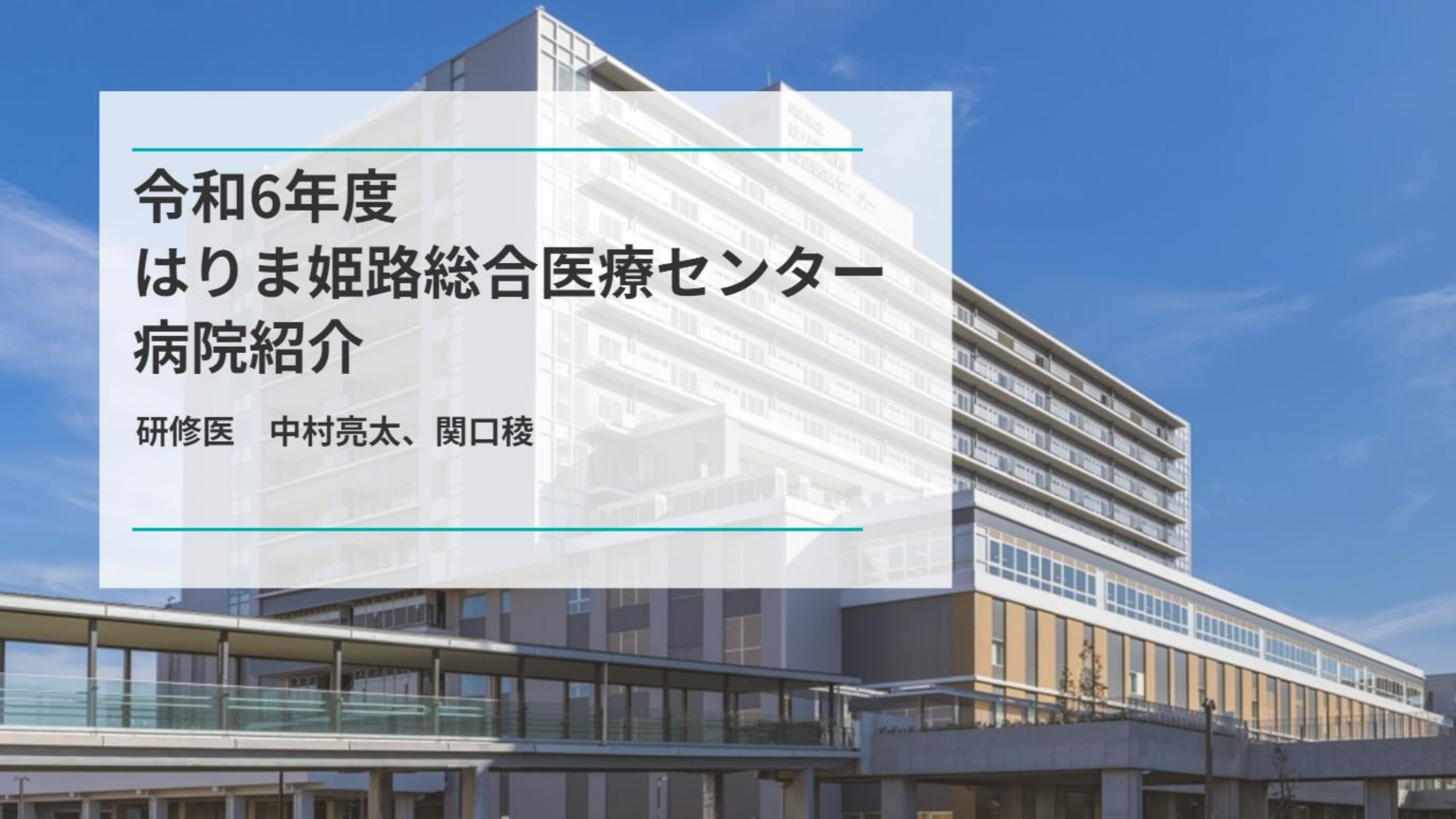
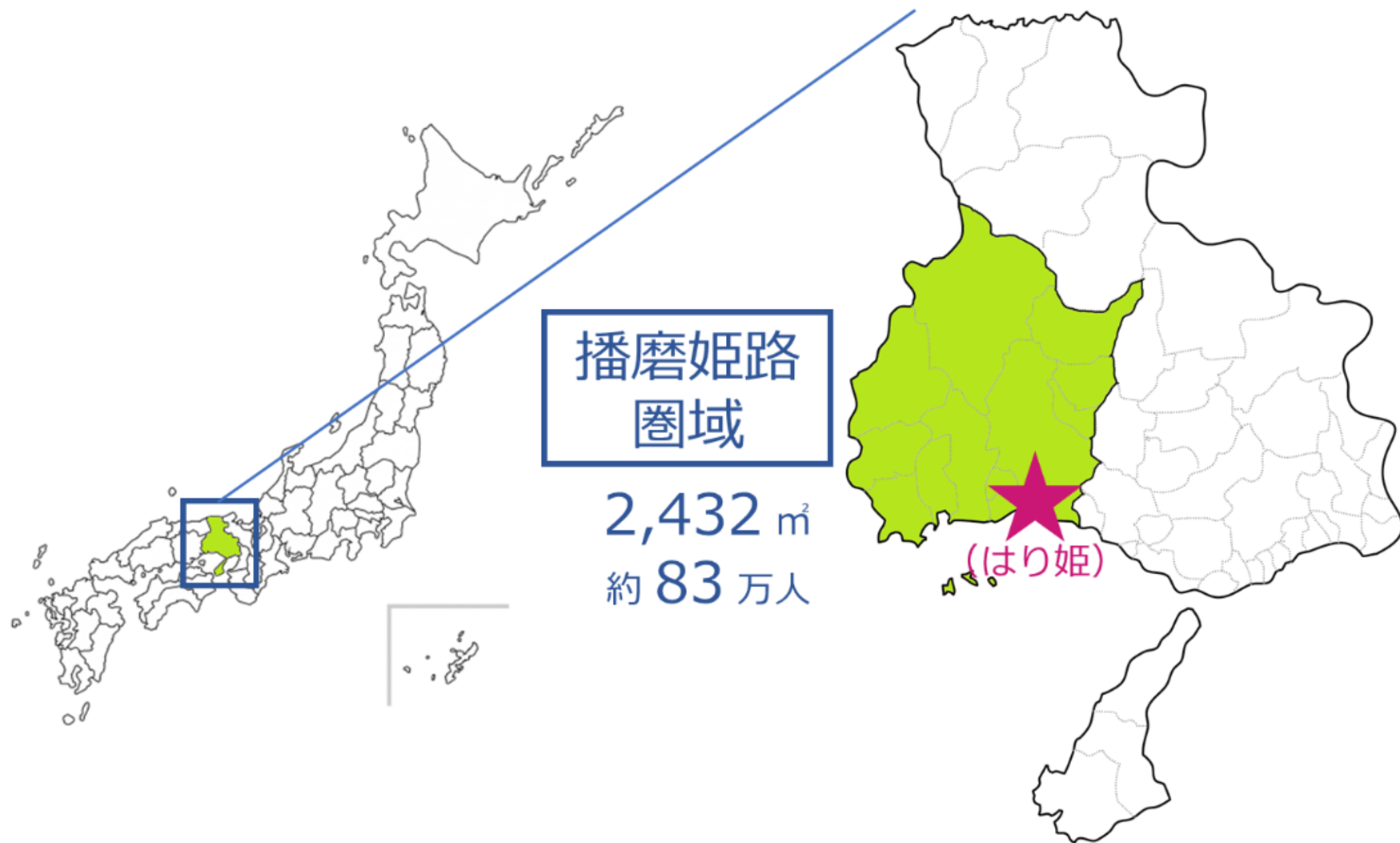


The background image shows a large, modern multi-story hospital building with a white facade and many windows. A lower section of the building has a glass-enclosed walkway. The sky is clear blue.

令和6年度 はりま姫路総合医療センター 病院紹介

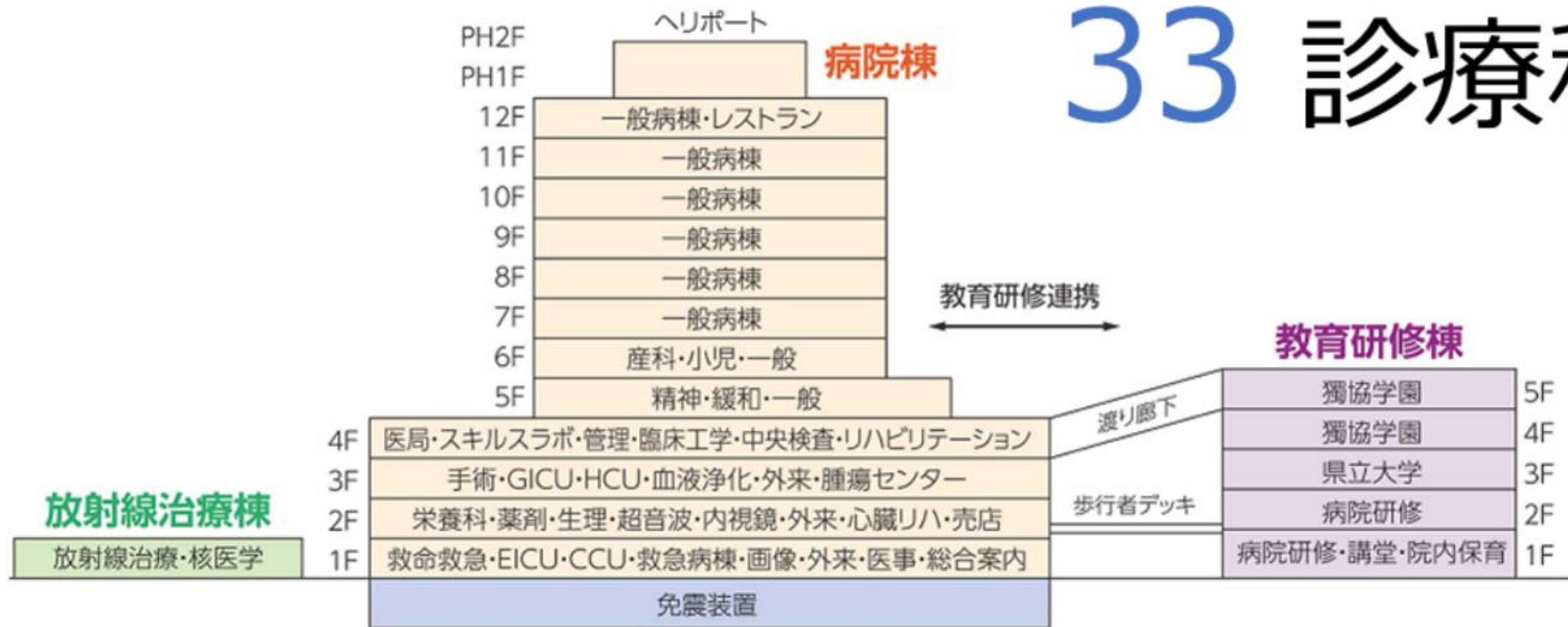
研修医 中村亮太、関口稜



姫路の街の特徴について



736 床
33 診療科



「はり姫」は豊富な診療実績があります

（期間 2023年1月～2023年12月）

 **1,017** 人

外来患者数（1日平均）

 **591** 人

入院患者数（1日平均）

 **32** 人

手術件数（1日平均）

 **25.3** 人

救急外来患者数（1日平均）

 **16.7** 人

救急車搬送患者数（1日平均）

 **318** 人

心肺停止状態搬送患者数（年間）

養成医派遣数

初期研修：3名

前期派遣：5年目 2名（救急、精神）

後期研修：7年目 3名（総内、脳内、整形）

後期派遣：8年目 1名（産婦）

研修医からの感想



総合内科: 八幡先生を中心に、6.7年目の中堅の先輩医師も指導的立場となりつつ、高いレベルで診療・教育をおこなっている。



脳神経内科:脳外科とも仲が良く、脳卒中の豊富な症例を経験でき、大学レベルの検査もすぐに行える。



産婦人科: 主に婦人科の手術が多い。熱心な先生方ばかり！



整形外科: 3次救急を担っているため、外傷や緊急手術の症例を多く経験できる。活発な先生が多い！



救急科: 3次救急で軽症から重症患者まで多彩な疾患を経験でき、優秀な救急科の先生に最高の指導をしてもらえる。



総合医療センターの医師ら指導

救急救命、児童ら学ぶ

はりま姫路総合医療センター（姫路市神屋町3）の医師らによる小中学生向けワークショップが2日、隣接するアクリエひめじで開かれた。約30人の子どもたちが心肺蘇生法や自動体外式除細動器（AED）の使い方を学んだ。

同センターは昨年5月、県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院を統合再編して開院。姫路駅近くの立地を生かして市民向けの「はりま健康講座」を積極的に開催しており、今回は小中学生を対象にした。

会場では、救命救急医が、人が倒れた際にAED使用や心臓マッサージをするかどうかで救命率に差が出ることを解説。少人数に分かれての実技では、倒れた人の呼吸が止まっていなかったか確認したり、リズムを意識して胸骨を圧迫したりする手順を学んだ。

医師らは「ひじを伸ばして自分の体重をかけて圧迫して」などと助言。白鷺小中5年の高山寧さん（10）は「胸骨圧迫は力が必要で大変だった。緊急時はパニックになるかもしれないけれど、できることを実践したい」と話した。

（橘高 声）



小中学生が胸骨圧迫などの心肺蘇生を教わったワークショップ「アクリエひめじ」

姫路

▶ 姫路本社
▽ 編集部
TEL:079-281-1125
▽ 営業部
TEL:079-281-1124
▽ 業務部
TEL:079-281-1122
▶ 神崎支局
TEL:0790-22-0045

きょうの天気

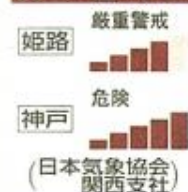
姫路	神戸
① 午前	① 午前
☀	☀
20	20
☁	☁
20	20
夜	夜
☁	☁
34	36
23	27
気温	気温

あすの天気

姫路	神戸
☁	☁
60	60

○数字は降水確率
→ のち
/ 一時
// 時々

熱中症(3日)



第2回

健康講座inはり姫

～来て、見て、知って。研修医が語る健康情報～

事前申込
不要

参加費
無料

当日先着順
定員50名

日時：7月12日（金）午後2時開演

（開場：午後1時30分）

場所：兵庫県立はりま姫路総合医療センター
教育研修棟 1階 講堂

当院の魅力をご紹介します。

豊富な症例数

ロールモデルとなる
先生たち

魅力ある
城下町での生活